

2018年5月の

MLPの動きをザックリご紹介

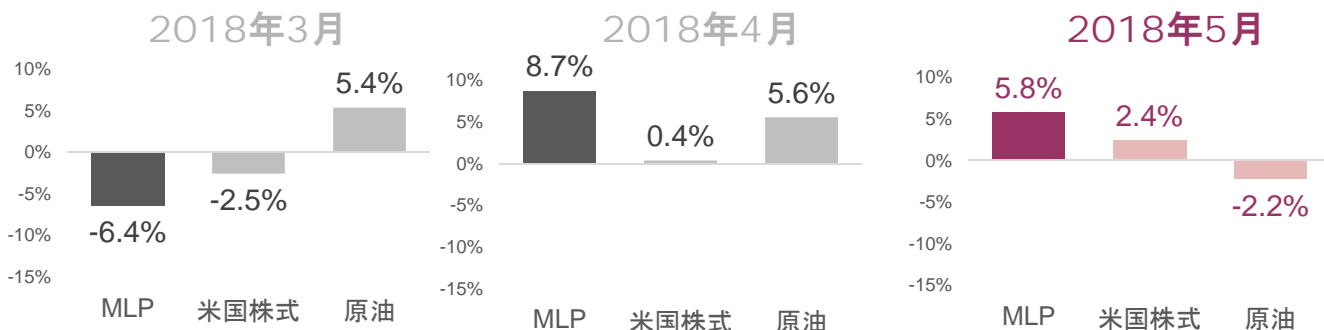
nikko am
fund academyMLP
Monthly

MLP マンスリー

■ 当月のS&P MLP 指数の動き

5月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+5.8%と大きく上昇しました。米経済指標の堅調を受け、米国10年国債利回りが3%台で推移し、上値が重くなる場面があったものの、MLPは総じて上昇基調となりました。MLPの1-3月期の決算内容が堅調だったこと、トランプ米大統領が、欧米など6カ国とイランの核合意からの離脱を表明するとともにイランへの経済制裁の再開を決定したことを受け、原油価格が中旬にかけて上昇したこと、そして、米中貿易摩擦激化に対する懸念の和らぎとともに米国株式市場が上昇したことなどが、MLP上昇の支援材料となりました。

■ 過去3カ月の主要指標の月次騰落率(米ドルベース、トータルリターン)



■ 主要指標の動き

MLP: S&P MLP 指数、米国株式: S&P 500 種指数、原油: WTI

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	2018/5/31	2018/4/30	2018/2/28	2017/12/31	前月末比	3ヵ月前月末比	前年末比
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,704.27	4,447.22	4,370.41	4,582.12	5.8%	7.6%	2.7%
プライスリターン	1,531.33	1,468.39	1,451.52	1,550.13	4.3%	5.5%	-1.2%
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	5,318.10	5,193.04	5,308.09	5,212.76	2.4%	0.2%	2.0%
プライスリターン	2,705.27	2,648.05	2,713.83	2,673.61	2.2%	-0.3%	1.2%
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	980.38	951.46	855.83	924.42	3.0%	14.6%	6.1%
プライスリターン	558.35	544.56	490.67	533.41	2.5%	13.8%	4.7%
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,203.00	1,153.29	1,094.80	1,237.27	4.3%	9.9%	-2.8%
プライスリターン	300.14	288.53	276.32	313.62	4.0%	8.6%	-4.3%
米国ハイイールド債(ICE BofA Merrill Lynch・米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,258.81	1,259.00	1,258.45	1,262.20	-0.0%	0.0%	-0.3%
プライスリターン	76.01	76.43	77.19	78.21	-0.5%	-1.5%	-2.8%
米国10年国債利回り	2.85%	2.95%	2.86%	2.40%	-0.10	-0.01	0.45
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり	67.04	68.57	61.64	60.42	-2.2%	8.8%	11.0%
天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり	2.95	2.76	2.67	2.95	6.8%	10.7%	-0.0%
米ドル(対円)	108.82	109.34	106.68	112.69	-0.5%	2.0%	-3.4%

※ 「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

■ 当月の出来事いろいろ

- 5月8日、トランプ米大統領が、2015年にイランと欧米など6カ国で結んだ核合意には欠陥があるとして、同合意から離脱し、対イラン制裁を再開すると表明。これに加え、9日にEIA(米エネルギー情報局)が発表した米週間統計において、米原油在庫が、横ばいの予想に反し減少したことなどもあり、WTI原油先物価格は、10日に、1バレル=71.36米ドルと2014年11月以来の高値を付けた。原油価格はその後も上昇基調となり、21日に、WTI原油先物価格は72.24米ドルとなったものの、ロシアとサウジアラビアが協調減産の緩和について協議しているとの報道を受け、月末にかけて大きく下落した。
- S&P MLP 指数構成銘柄上位の、エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ、エナジー・トランスファー・パートナーズ、プレーンズ・オールアメリカン・パイプラインなどは、1-3月期の決算において、市場予想を上回る調整後EBITDA(利払前、税引前、減価償却前利益)を発表し、市場で好感された。
- 16日、IEA(国際エネルギー機関)は、足元の原油高などを受け、今年の世界石油需要の伸びの見通しを下方修正した。
- EIAの週間統計によると、米原油生産量は5月の第4週までで14週連続での増加となった。

■ 今後の注目点

- 6月22日にウィーンにおいてOPEC(石油輸出国機構)定例総会が非加盟国を招いた形で開催される。足元の市場動向などを踏まえ、減産の実施期間(現状2018年末まで)の見直しなどについて検討される予定。市場では、協調減産が緩和されるかどうかに関心が集まっている。
- 大西洋圏では、ハリケーンシーズン(例年6月から11月頃まで)を迎える。ハリケーンによる暴風雨は、進路や勢力によって、米国メキシコ湾岸沖合いの油田関連施設に影響を与えるため、その動向が注目される。

■ 当月の数字：2018年1-3月期のMLP各社の分配金動向

2018年1-3月期の決算では、前期比増配を発表するMLPが多くみられました。S&P MLP 指数構成銘柄(62銘柄、2018年4月末時点)のうち、60社の発表が確認できており、前期比での増配は33社、横ばいが23社、減配が4社でした(5月31日現在)。

<S&P MLP 指数の上位構成銘柄*と株価の月次騰落率>

2018年5月末現在

* 上位構成銘柄は、2018年4月末時点

銘柄名	業種 (事業分類)	2017年10-12月期		2018年1-3月期		株価の月次騰落率	
		分配伸び率 (前期比)	分配伸び率 (前年比)	分配伸び率 (前期比)	分配伸び率 (前年比)	2018年 4月	2018年 5月
エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ	石油・ガス 貯蔵・輸送 (川中)	0.6%	3.7%	0.6%	3.0%	9.6%	7.7%
エナジー・トランスファー・パートナーズ		0.0%	8.7%	0.0%	5.6%	11.1%	5.4%
マゼラン・ミッドストリーム・パートナーズ		1.7%	7.6%	1.9%	7.4%	12.8%	6.2%
エナジー・トランスファー・エクイティ		3.4%	7.0%	0.0%	7.0%	11.2%	9.4%
プレーンズ・オール・アメリカン・パイプライン		0.0%	-45.5%	0.0%	-45.5%	6.7%	0.0%
MPLX		3.4%	16.8%	1.6%	14.4%	6.9%	1.6%
ウィリアムズ・パートナーズ		0.0%	-29.4%	2.3%	2.3%	5.7%	9.3%
バックアイ・パートナーズ		0.0%	2.0%	0.0%	1.0%	11.1%	-13.2%
ウェスタン・ガス・パートナーズ		1.7%	7.0%	1.6%	6.9%	12.6%	7.5%
プレーンズGPホールディングス		0.0%	-45.5%	0.0%	-45.5%	12.7%	1.4%

※業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づく

※事業分類は、日興アセットマネジメントによるもの

※2018年1-3月期の分配伸び率は、2018年5月31日時点で確認できたもの

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界のマーケット状況についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

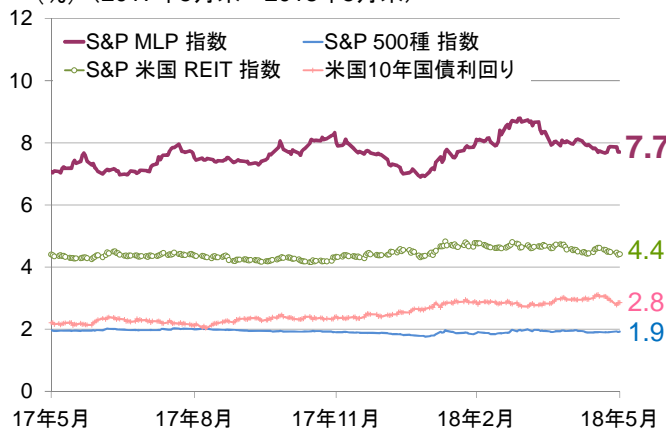
■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)

(2017年5月末～2018年5月末)



■各資産の利回り

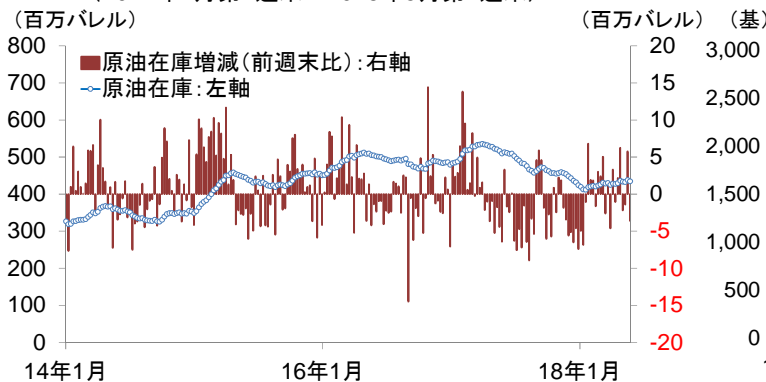
(%) (2017年5月末～2018年5月末)



※ 各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。
 ※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

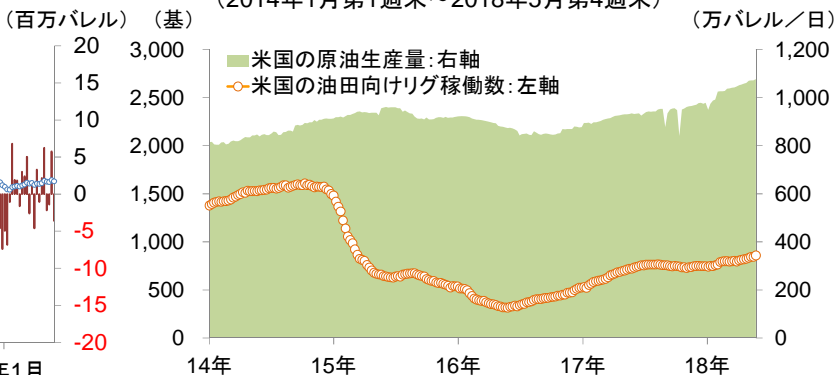
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2018年5月第4週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

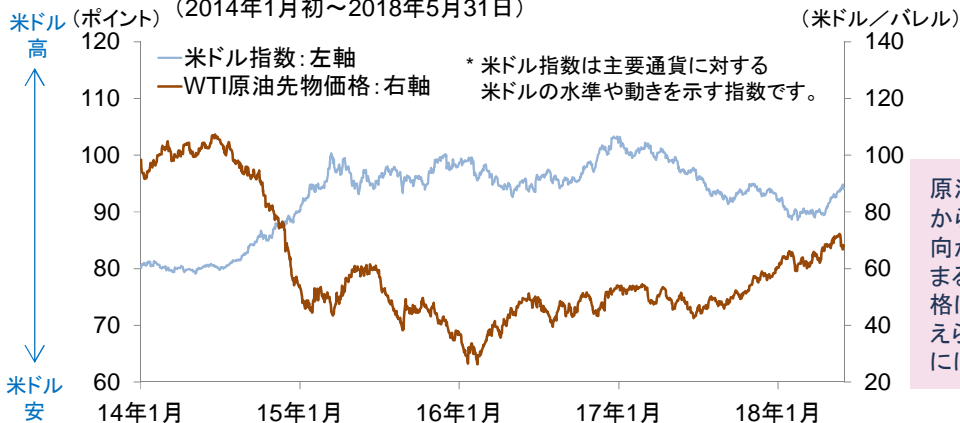
(2014年1月第1週末～2018年5月第4週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給悪化懸念(改善期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減ると)、需給悪化懸念(改善期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2018年5月31日)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル高基調が強まる場合、割高感などにより、原油価格に押し下げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。